

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年3月23日発行

－ 2018.3.12～ 2018.3.18 － 第11週 －

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第8週	第9週	第10週	第11週
水痘	5 1.00	6 0.60			2 0.67			8 0.30	21 0.36	234				
流行性耳下腺炎			1 0.20					1 0.04	2 0.03	33				
感染性胃腸炎	28 5.60	27 2.70	11 2.20	11 5.50	10 3.33	12 2.40		105 3.89	204 3.46	2,564	◎	◎	◎	◎
手足口病			1 0.20			7 1.40	11 5.50	2 0.07	21 0.36	146				
伝染性紅斑				3 1.50					3 0.05	36				
突発性発しん	3 0.60	4 0.40	4 0.80	1 0.50	1 0.33	1 0.20		12 0.44	26 0.44	229				○
ヘルパンギーナ			1 0.20						1 0.02	9				
インフルエンザ	185 23.13	161 10.73	133 16.63	12 4.00	78 15.60	164 20.50	40 10.00	472 10.73	1,245 13.11	31,351	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	1 0.10	2 0.40	1 0.50		9 1.80		7 0.26	21 0.36	180				
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	36				
急性出血性結膜炎						1 1.00			1 0.08	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34 6.80	27 2.70	11 2.20	13 6.50	4 1.33	45 9.00	2 1.00	77 2.85	213 3.61	2,112	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00			2 2.00		2 2.00			5 0.42	37				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	4 0.80		3 0.60		1 0.33			14 0.52	22 0.37	322	○	レ		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			1 1.00					1 0.20	2 0.17	5				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4						1						
	川崎病													
	不明発しん症							2						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 27例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))  
石巻管内 女性1名  
気仙沼管内 女性1名(第10週)  
仙南管内 男性1名  
仙台管内 女性1名  
結核(無症状病原体保有者)  
塩釜管内 女児1名\*  
仙台管内 女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O103)  
大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症  
仙南管内 男性1名(第10週)

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(*E.aerogenes*)

仙台管内 男性1名  
後天性免疫不全症候群  
仙台管内 男性2名  
侵襲性肺炎球菌感染症  
仙台管内 男性1名、女性1名  
梅毒  
塩釜管内 男性1名(第10週)  
百日咳  
気仙沼管内 女性2名(第8週)

※女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南、塩釜、大崎、登米、石巻、気仙沼、仙台管内  
で警報レベルを継続中です。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報レベルを継続中です。

[手足口病]

気仙沼管内で10名の患者報告があり、警報値を超えました。

[急性出血性結膜炎]

石巻管内で1名の患者報告がありました。

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より  
石巻管内 第10週採取分 インフルエンザウイルスB型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		
	第8週採取分 (2.19～2.25)	中 間 報 告 第9週採取分 (2.26～3.4)	報 告 第10週採取分 (3.4～3.11)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	0件	0件	1件
インフルエンザウイルスA(H3)型	10件	2件	1件
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	10件	4件	5件
RSウイルス	2件	0件	0件
アデノウイルス	0件	0件	1件

## 4. 今週のコメント

### 【インフルエンザ】

患者報告数は6週連続で減少しており、分離されるインフルエンザウイルスのタイプもB型が多くなっています。

未だ、流行は続いていますので、感染予防のために、うがいや手洗いの励行、加湿器の使用、不要不急の外出を避けるなど積極的な対策を行いましょう。急な発熱、悪寒などの症状がある場合は、早期に医療機関を受診して下さい。

### 【百日咳】

第8週に気仙沼管内で患者報告がありました。百日咳は、百日咳菌の感染で起きる急性の気道感染症です。初めはかぜのような症状ですが、次第に激しく発作性に咳込むようになり、発熱や嘔吐を伴うこともあります。乳児は無呼吸、呼吸困難など重症化しやすく、特に注意が必要です。咳などで発生する菌を含んだ飛沫や接触感染でうつり、感染力が強いとされます。予防にはワクチン接種が有効で、感染しても軽い症状ですみます。家族等から乳児への感染例も報告されていますので、患者発生があった管内では注意が必要です。

※百日咳は、平成30年1月1日より感染症法の五類感染症の全数把握疾患となりましたので、診断された医師は保健所への届出をお願いします。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

